

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第2回 学校規模学校配置適正化検討委員会
開 催 日 時	平成24年7月25日(水) 14時00分～
開 催 場 所	小川総合支所 大会議室
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <p>水本徳明 村田春男 戸田見成 萩原 茂          菊地 稔 藤田恵弘 小埜正美 小仁所 浩          西村浩一 鈴木美樹 邊見亜津子 中島 淨          竹内昌信</p> <p>【欠席委員】</p> <p>福田 智彦 稲田 弘 立原 幸子 沼田マサ          星野広幸 飯島利武</p> <p>【教育委員】</p> <p>中村三喜 鶴町庄二 沼田 新 澤島照子 本田仁子</p> <p>【事務局】</p> <p>我妻智光 戸塚俊宏 成井修也 真家 厚          佐々木 浩 菅谷清美 大枝江梨子</p>
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本方針リーフレットの内容について</li> <li>・ 住民説明会の進め方について</li> </ul>
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、 他 )
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 3 人)

**【協議】**

**(1) 基本方針リーフレットの内容について**

委員長 前回の会議で、基本方針を分かりやすく簡単にまとめたリーフレットを作成し、住民説明会の前に配布すべきという意見が出たことから、事務局がリーフレット案を作成した。事務局は説明願います。

事務局 <【資料1】リーフレットを使った説明>

委員長 事務局が作成したリーフレット案について意見をいただきたい。

委員 ○(資料1のP1)「今後の流れは？」の下の枠は縦書きではなく、横書きにした方がよい。

○教育用語で難しいものは使用しない。例えば、「学習形態」など。

○(P3)「学校規模についての考え方」に学年2学級以上と書かれているが、弾力的な運用ができるような表現に変えてはどうか。

委員長 「目安」や「およそ」のような意味合いの言葉を入れるようにする。

具体的な表記の仕方は一任いただきたい。

委員 (P3)「学級規模についての考え方」の所に「※36名以上の学級が生じないように配慮し、～」とあるが、一人ひとりに目が行き届く範囲の学校・学級作りということであれば、36人という数はどうなのか。学級数が増えてくると、同じ学年でも顔が分からないということがある。大きな学校にも配慮した書き方が必要なのではないか。

委員長 基本方針を基に作られたので、このような表現になった。大規模校については、基本方針を作成する際に話題にあがった。大規模校において、学校を分けることは考えにくいから、学級の人数を減らして目が行き届くようにするという意見から、36人という数字が出てきた。学級規模を工夫することで学校全体は大きくても、子ども一人ひとりに目が行き届くような配慮をしようということである。このことについて、何か意見はあるか。

委員 市民や保護者の声をよく聞いて、進めるべきである。

最終結論はいつ出すのか。進み方が遅いように思う。

ここはこうなりますよというように、まず形を示す、というやり方もある。

委員長 当初は、実施計画の答申を今年度中に教育委員会に提出する予定であったが、前回市民の声を十分に聞くべきという意見が出たことから、今年度中ということにこだわらずに丁寧に進めようということになった。

委員 なぜ日本人に説明するのに、外国語(カタカナ)を使うのか。高齢者にも分かりやすく表記するべきである。

委員長 なるべく日本語で表記するよう修正する。

委員 ○基本方針がすでに公表されているので、リーフレットは方針に沿ったものであるべきである。今回事務局から示されたものは、基本方針通りに作成されたものなので、現段階ではこのままの形で配布すべきではないか。

委員 ○(P3)「新しい学校づくり」の「小中一貫教育」「コミュニティースクール」について、基本方針には「検討の可能性も考えられる」とある。この書き方ではこの2つで進めていくとも捉えられるので、矢印の部分に「このような可能性を検討する」のような言葉を入れてはどうか。

委員長 1点目について、基本方針がすでに公表されているので、リーフレットは方針に沿った書き方で作成する。そこからはみだす意見については、今後の議論の中で取り上げるとして、このリーフレットには付け加えなくてよいということだが、いかがか。

委員 (P3)「新しい学校づくり」の部分に、学校の再編ということを入れなくてよいのか。

委員長 例えば統合した上で一貫校にする、統合しないがコミュニティースクールにするという場合も考えられるので、「小中一貫教育」「コミュニティースクール」と「学校再編」を一緒に書くのは難しいと思う。

委員 住民は、自分の学校がどうなるのかを知りたい。このリーフレットからは、それが見えてこない。何を伝えたいのかよく分からない。

委員 リーフレットを出す意味としては、「このリーフレットを基に、説明会でたくさん意見を出してもらいたい」ということだと思う。よって、そのことを前面に出したリーフレットにすればよいのではないか。

委員 「みなさんの意見で変わっていきます, 意見をお待ちしています」のようなことがリーフレットに書かれていれば、関心を持って見てもらえるのではないか。

委員長 「このリーフレットを基に考えてほしい」「意見をもらうためのリーフレット」ということが分かる形に変えていきたい。

委員 (P3)「新しい学校づくり」の下の矢印2つは消してはどうか。小中一貫教育やコミュニティースクールはあくまで可能性のはず。

委員 印刷工場に注文するのか。

委員長 事務局は、今後のリーフレット作成の流れを説明願います。

事務局 リーフレット作成の承認が出れば、まずは補正を出し、予算をもらう。4,50万程度かかる見込みである。区長を通しての配布・窓口に設置の予定である。形としては、A3両面の2つ折にし、1枚となるようにする。

委員 これはリーフレットというのか、パンフレットというのか等、呼び方も決める必要がある。

委員 「みなさんの意見を聞きますよ」ということを前面に出してほしい。

委員長	例えば、(P1)「今後の流れは？」の⇒の部分に、「みなさんの意見を聞きます」というような言葉を入れると分かりやすくなるかもしれない。そのようなアピールが伝わるように工夫したい。
委員	○基本方針からの言葉を直接引用しているので、もっと簡単にかみくだいて短い文章で表記したほうが分かりやすい。例えば、(P4)「市民の理解」の文章を大切な所だけ書くというように。 ○(P1)「実施計画策定にあたっては」の部分は、どのように市民の声を取り入れていくかということを入れてもよいのではないか。方針に書かれていること以外書けないという配慮があるからだとは思いますが、ある程度事務局の裁量を持って、作成してもいいのではないか。
委員	高齢者世帯にこのリーフレットを出しても、あまり関心を示さないのではないか。そうなるとどの程度の範囲に配布するのかということが問題になってくる。幅広い世代に読んでもらえるような工夫をしてほしい。
委員	キャッチフレーズは、やんわりとやさしい感じでお願いしたい。
委員	「教育が変わります」等
委員長	修正は、私と事務局に一任いただいてよろしいか。
全員	異議なし

## (2) 住民説明会の進め方について

委員長	市民の声を聞くべきという意見が多かった。 時期、範囲等、住民説明会の進め方について意見をいただきたい。
委員	説明会は、小学校区単位で行ってはどうか。まとまりやすい。範囲を広げすぎると、細かく意見を聞けない。中学校区単位では大きすぎると思う。
委員	授業参観と抱き合わせたら、人が集まるのではないか。場所も学校だと、子どもがいない世代も学校を見ることができてよい。
委員	学校行事と抱き合わせれば、参加率は上がる。
委員	リーフレットに「家族でよく話し合って説明会に参加してください」と入れてはどうか。説明会に参加するのは1人でも、その1人が家族で話し合った意見を持って参加すれば、広く意見を聞けることになるのではないか。
委員	早く住民説明会を実施したほうがよい。
委員長	リーフレットを作るにしても、まずは予算を通してからということになるので、早くても10月頃の予定であるが、できるだけ早く進めることができるような体制をとっておきたい。また事務局にも住民説明会をできるだけ早い時期に開催できるような方策を出してもらいたい。
委員	保護者だけでなく、広く意見を聞くべきである。区長に声をかけてもらう等。

委員長 私も、区長にお願いしておくのがよいと思う。学校のルートだけだと保護者だけということになってしまうかもしれない。

委員 区長全員を集めるというのは難しいので、まずは、役員会で話をしてもらおうという形がよいのではないか。

委員 説明会はある程度の規模を決めておかないと時間がかかりすぎるのではないか。例えば、小さい学校については何校か合同で行うなど。

委員 それでは、なおさら小さい学校が統合の対象であるというような気持ちになってしまうので、ぜひ1校ずつ行ってほしい。

委員長 規模の小さい学校ほど敏感になる問題なので、1校ずつ丁寧な説明会を行いたい。

委員 リーフレットでまず目が行くのは、(P3)の「学年2学級以上」「学年3学級以上」の部分である。  
小学校区がよい。

委員 統合のうわさが保護者からは出ている。

委員 今のような感じでは、説明会の始めから「うちの学校は統合するのか」という話になり、話し合いが混乱してしまう恐れがある。説明会の実施方法について十分に検討すべきである。

委員 卒業した学校を守りたいというのが心情であるので、それを考慮して進めていく必要がある。

委員長 とりあえず説明会だけしますでは、その後に立ち往生してしまうので、説明会後のことも考えて、実施方法を考える必要がある。  
実施方法について意見はあるか。

委員 まずはリーフレットの配布等で問題提起をしないと前に進んでいかない。  
このリーフレットでは、統廃合ありきとしかとれない。「今後の教育」というきちんとした理念を持っていないとうまくいかないと思う。

委員長 適正化配置の問題と平行しながら、小美玉市の教育理念というものをしっかりと示していく、その中で今後の学校の在り方を考えられるようにしていくべきであろうという意見であった。

委員 基本方針の中に「子どもたちのために進めていく」と明記されている。文化の中心である学校がなくなるのは地域にとって非常に不安なことではあるが、それを乗り越えて子どもたちのためにどうしたらよいかを考えることが大切だと思う。  
子どもが励まし合ったり、多様な教育活動を行うにはある程度の学校規模が必要だということが書かれているが、そのことをよく理解してもらった上で話し合いを進めていかないと混乱が起きる。説明会の中で、子どもたちのためにこのような問題が出てきているということを中心に進めてほしいと思う。

委員 小学校にあがる前の子どもを持つ保護者の意見を聞ける場を設けてはどうか。

委員長 説明会の案内に「これから小学校にあがるお子さんがいる保護者の方もぜひ来てください」と入れるとか、保育所や幼稚園を通して案内を流す等の工夫をしたい。

委員 最終的には、中学校区ごとの PTA の役員同士や希望者等の話し合いに持っていければいいのではないか。「地区ごとに」を出せば、連携を図る人が出てくる。

委員長 「将来的には地区ごとに考えていただく組織を作る予定です」ということを示すということによいか。

委員 そのような形にすればうまく話し合いを進められるのではないかと思う。

委員 地域への投げかけが必要であると思う。それと同時に上から見ている動き（組織）も必要である。

地域若い世代が減っている。学校適正化が、若い世代が地域に残ってくれるような取り組みになればと思う。

委員長 説明会后、地域ごとに自分たちの学校の在り方を検討してもらおう。一方で、教育委員会には教育の理念をしっかりと示してもらおう。各地域で考えてもらおう集まりを持つというような流れで進めていきたい。

今日の意見を事務局で整理していただき、今後のスケジュールを組んでいただきたい。次回、住民説明会の実施時期、場所、日程、内容、進行の仕方、方法を確定させる作業をしていく。

委員 ○区長会や PTA 指導者に学校適正化配置の理念を浸透させた後に、住民説明会を実施するのがよい。上記の人たちは、話し合いのベースを作ってくれる。

○寒い、暗いなどの閉塞感を感じない時期に実施するのがよい。

次長 8月の区長役員会でリーフレット等の説明をすることを考えると、次回の委員会開催は9月になる。

委員長 詳しい日程は改めてお知らせする。

15:40 閉会